

「令和3年度 第75回東白川中学校卒業証書授与式」村長祝辞

伝統ある東白川中学校を卒業する16名の皆さん、御卒業 誠におめでとうございます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中での卒業式の開催となりましたが、卒業生全員が揃って出席でき大変嬉しく思います。

今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てられました保護者の皆様にも心からお慶びを申し上げますとともに、竹腰校長先生をはじめ教職員の皆様方には、これまで温かく、時には厳しく子どもたちを導いていただいた御労苦に対し深く感謝を申し上げます。

また、卒業生、在校生、PTAの皆様、教職員の皆様、全ての学校関係者の皆様に新型コロナウイルス感染防止対策に協力していただいたことに、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

さて、皆さんはウイズコロナ、あるいはコロナとの共生社会といわれるように、様々な行事で規模を縮小したり時期をずらしたりしての中学校生活でした。しかしこの一年間を振り返ってみても、体育大会でのさすが3年生と思わせてくれた頑張りや、ふるさと学習発表会、私は残念ながらCATVでの鑑賞になりましたが、3年生らしく東白川村の事をSDGsを切り口に深く調査研究し学んでくれた事は大変嬉しく思いました。そしてまとめとして東白川村の事がもっと好きになった、大きくなったら村の役に立ちたいと言ってくれた事などがとても頼もしく感じました。

そうした皆さんを見るたびに、充実した中学校生活を送ってくれたのかと安心した次第です。

そこで、中学校卒業という節目のときを迎えた卒業生の皆さんに、**かの**有名な吉田松陰という幕末の学者の言葉を引用して、お祝いと激励の言葉を贈りたいと思います。

それは

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」

という言葉です。

皆さんは若い力と無限の可能性を秘めています。

自分の夢に向かって堂々と進んでください。

次に、毎年卒業生にお願いすることですが、夢の実現するためには心と体の健康が無くてはなしえません。

御両親から授かった皆さんの身体を大切にしたいということです。この村で御家族や先生方、地域の方々に見守られてすくすくと育った皆さんは、これからの人生において予想もできないような危険や誘惑、ストレスなどを体験すると思います。コロナウイルス感染症が終息するまでまだまだ先が見通せない今こそ、このことを特にお願いしたいと思います。

どうか、「夢を持つこと」と「健康」この二つの言葉を心の片隅にとめておいて、努力を惜しむことなく邁進して、たくましく成長して下さるよう心から祈っております。

東白川村は未来永劫、あなた方の故郷であることに変わりはありません。今後この村を離れることになっても、東白川村をいつまでも忘れずに、そして機会に恵まれたならばこの村に帰ってきて若い力で活躍いただけたら、この上無い喜びとするところであります。

私たち東白川村民は皆さんが育ったこの故郷をしっかりと守り次の世代に引き継いでいきます。

結びに、卒業生の皆さんと御家族の皆様の末永い幸せをお祈り申し上げまして祝辞とします。

令和4年3月8日

東白川村長